（参考）

『音楽の著作権のひみつ』書籍の概要

・書籍名：学研まんがでよくわかるシリーズ 188
　　『音楽の著作権のひみつ』
・まんが：杉谷エコ
・構　成：WILL こども知育研究所
・仕　様：菊判・ハードカバー・本文　128 ページ
・発行元：株式会社 Gakken

＜あらすじ＞

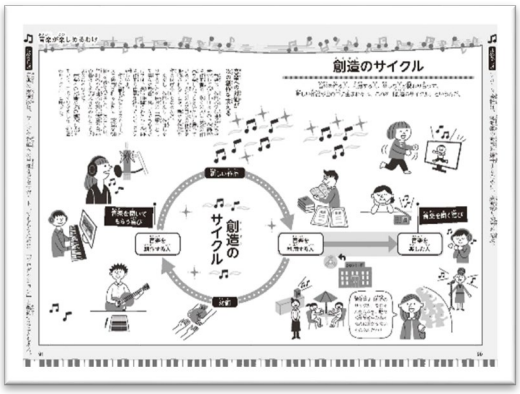
小学 5 年生の男の子が、駆け出しのミュージシャンである従姉と JASRAC 職員の協力を得て、著作権をテーマとする自由研究に取り組む。著作権とは何か、著作者が創作活動を続けられるのはなぜか、著作権が人々の暮らしをどのように豊かにしているか、またその前提として気を付けるべきことは何かなどを、ミュージシャンに憧れるクラスメイトと一緒に学んでいく。

＜登場人物＞

ソウタ･･･主人公。小学 5 年生。
アオイ･･･ソウタのクラスメイト。ミュージシャンに憧れている。
リコ･･･ソウタの従姉。駆け出しのミュージシャン。JASRAC 委託者。
カズオ･･･JASRAC 職員
ヒナ･･･シンガー。リコとユニットを組んでいる。

＜目次＞

・プロローグ「いとこはミュージシャン！」
・第１章「著作権って何？」
　　コラム①　著作権ってなんだろう？
　　コラム②　身の回りで使われる音楽
・第２章「音楽を守るために」
　　コラム③　音楽を利用するときのルール
　　コラム④　著作権の歴史
　　コラム⑤　著作物を自由に使える場合
・第３章「音楽が楽しめるわけ」
　　コラム⑥　ルール違反になる音楽の利用
　　コラム⑦　創造のサイクル
・第４章「音楽って楽しい！」
　　コラム⑧　作曲家・林ゆうきさんインタビュー！
・第５章「ソウタの自由研究」
　　コラム⑨　著作権クイズにチャレンジ！
・エピローグ「リコとのステージ」



http://www.jasrac.or.jp/